



Quarterly 高千穂

Vol. 29 | 2010/10

Contents

- | | | | |
|----|--|----|---|
| 2 | TAKACHIHO News
社団法人 新日本スーパーマーケット協会寄附講座 開催 | 11 | TAKACHIHO Campus Life
学友会コーナー(高千穂祭/競技大会) |
| 3 | TAKACHIHO Report
留学生研修旅行について | 12 | TAKACHIHO Report
誌上就職情報&報告 |
| 4 | By Air Mail
東呉大学研修レポート | 14 | TAKACHIHO Report
ゼミナール連合本部活動 |
| 6 | TAKACHIHO Report
平成22年度 高千穂大学 奨学生表彰・認定式 | 16 | TAKACHIHO Report
教育実習体験報告 |
| 8 | Seminar Information
ゼミナール紹介 | 18 | TAKACHIHO Information
高千穂同窓会
父母の会
編集後記 |
| 10 | New Books & Review
書籍紹介 | | |

TAKACHIHO News

■社団法人 新日本スーパーマーケット協会寄附講座 開催

社団法人 新日本スーパーマーケット協会(旧:日本セルフ・サービス協会)から寄附講座が提供されました。協会からの寄附講座は今年で4回目となり、本年度は企業戦略から食文化まで幅広く講演をしていただく予定です。ご関心のある方は、ぜひご聴講ください(聴講募集人数50名)。詳しくは教務1課(03-3313-0146)へお問い合わせいただくか、大学webサイト(<http://www.takachiho.jp/faculty/course.html>)をご覧ください。

開講日時:毎週金曜日10時40分から12時10分

開講場所:本学1号館1102教室

	開 講 日	会 社 名	講 師	内 容
第1回	10月8日	ワーク・ライフデザイナー	相原真弓	企業風土からみる就職活動
第2回	10月15日	(株)アデガワ	阿出川光俊 常務取締役	エスカマーレの味覚
第3回	10月29日	九州電力(株)	村山紘一 非常勤監査役	明るく楽しく生き生きと!
第4回	11月5日	(株)モデンナ	高橋りえ 代表取締役	女性経営者から見た食品業界の行方
第5回	11月19日	(株)角川マーケティング	正村英樹 執行役員	角川が考える地域活性とサービスネットワーク
第6回	11月26日	江崎グリコ(株)	島森清隆 執行役員	江崎グリコの商品開発
第7回	12月3日	バリラジャパン(株)	豊田安男 代表取締役	イタリアの食文化と食習慣
第8回	12月10日	物流コンサルタント	斎藤陽一郎	物流コンサルの眼から見ると...
第9回	12月17日	スペイン・ガリシア州自治政府	ペドロ J. ガジェコ 経済大蔵省駐日代表	文化のかけ橋としてのスペイン料理
第10回	12月24日	(株)MAパートナーズ	池井良彰 代表取締役	わかりやすいM & A 基礎講座

留学生研修旅行について

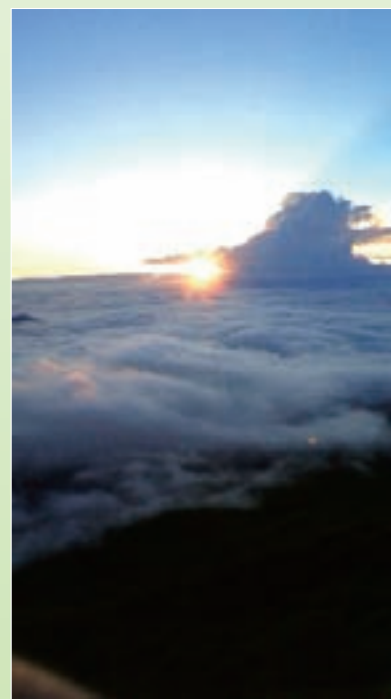
8月9日(月)~10日(火)にて留学生研修旅行「富士登山」を実施した。本企画は、留学生交流会からの希望により始まったもので3年毎に行われ、今年で2回目の実施となった。

研修旅行初日は、朝からあいにくの雨模様で天候状態が危ぶまれるなか大学へ集合しバスにて富士山へ向かった。参加者は事前の講習を受講し、富士登山の知識、心構えを習得し、天候の違いや、トイレがチップ制であること、ゴミは必ず持ち帰ること等、富士山への理解を深め登山に臨んだ。

五合目にバスで到着後、本部を設置し学生委員長、学生部長が五合目に待機、富士吉田に学長、学生常任委員が待機し、副学長が大学に待機して不測の事態に備えた。13時30分に、相変わらずの雨模様のなか「頑張るぞう!!」の掛け声とともに、ガイドに従い留学生21名と、引率者6名が七合目の山小屋を目指し出発、途中留学生1名が体調不良となり急遽五合目に引き返すことになったが、高度と薄くなる酸素に体を慣らしながらゆっくりと登り、16時50分宿泊先の「鳥居荘」に到着した。夕食後、天候の回復が望めないとのことで登頂を断念し就寝となったが、その後奇跡的に天候が回復したため再度山頂へアタックすることとなった。

2日目は、23時30分に鳥居荘を出発し山頂を目指した。七合目に7名の留学生が体調不良等にて登頂を断念したため引率者1名が就き山小屋に留まり、結果参加者21名中13名の留学生と、引率者5名が登頂することに成功した。山頂ではすっかり天候も回復し御来光を拝むこともでき、山頂で朝食をとり記念撮影をした後下山を開始した。

延々と続く下山道を下り8時30分に五合目に到着。七合目で別れた留学生も全員集合し無事下山することができた。下山後は、途中富士吉田で待機されていた学長と合流し、河口湖畔の温泉にて汗を流し食事をした後、帰路へとついた。





東呉大学研修レポート (東呉大学:台湾 台北市 平成22年8月9日～30日)

経営学部2年 酒寄 剛志

今回、東呉大学の短期研修で三週間という短い期間でしたが、貴重な経験をすることができました。台湾の治安や食べ物には特に心配することなく、チューターさんもとても優しい方たちで、とても安心して過ごすことができました。授業では、中国語会話や読本、台湾の文化や政治と経済について学びました。実際に、現地での生活の中では、授業で習った中国語を話すようにして過ごしました。休日には、台北市にある色々な観光地に行ったりもしました。しかし、今回、台湾



経営学部3年 黒木 敏典

今回私は、中国語の勉強を兼ねて台湾への海外研修に参加しました。

はじめは中国語の勉強のために参加するつもりが実際に台湾に来て見ると、中国とは違った様々な文化があり、それを知ることで台湾への興味がより一層増しました。

海外研修では平日に授業を行い、その後は各自自由に様々な所に出掛けました。

台湾は小さい島国のように見られますが、そんな中にもたくさん観光地があり様々な文化がありました。

中国語をあまり勉強していたわけでは無かったので、中国語に自信を持っていなかったのですが、東呉大学の教授やチューターの人たちが親切にしてくれたので、なんとか楽しむ事ができました。

みなさんも是非台湾に行ってみてはいかがでしょうか？



授業中

旅行で行った動物園

研修に行ったことで、中国語を流暢に話すにはまだまだ勉強不足であると痛感しました。今回の短期研修をきっかけに、今まで以上に中国語の勉強に励んでいきたいと思います。



桃園空港にて



社会科見学で行った中央放送局

商学部2年 井村 彩

私が海外研修に参加した動機は、以前から海外留学・研修に興味があったというのと、せっかくの夏休みを無駄に過ごしたくないという思いがあったからです。海外研修では、中国語の勉強はもちろんのこと、ほかにも、寮生活の大変さなどのいろいろな体験をすることができました。

3週間の台湾の生活で1番印象に残っているのは、日本と台湾の食文化の違いについてです。台湾料理は、基本的に油っこいものが多く、研修生のほとんどが何度も体調を崩し

てしまったりして慣れるまで大変でした。しかし、台湾はフルーツがとても豊富で、値段も安く最高でした！大変だったのが、東呉大学の周りには本当に山以外に何もなくて、何をすることも、バスやMR T (都市鉄道)等の乗り物に乗り、移動しなければならなかったということです。

研修中は1日1日がとても濃く、あっという間の3週間でした。自分の語学力のなさを痛感し、中国語をもっと勉強したいという気持ちが強くなった研修でした。この研修で学んだことを、今後の自分に役立てられればいいなと思っています。

海外研修委員会常任委員

人間科学部 准教授 木村 正人

学生たちのほか、東呉大学の学長と副学長、学部長先生がご出席くださり、修了認定証書と優秀賞の授与式が行われた。成果報告とお礼の挨拶に代えて、参加学生ひとりひとりから中国語によるスピーチがあり、なかには感極まって涙する学生もいたから、きっと勉学の苦勞も含めて貴重な経験を振り返っていたのだろう。

中国語を学ぶのであれば、中国本土でのほうがよいのではないかという声もあるかもしれないが、台湾は、中国語、台湾語、日本語、英語等が街路にあふれ、庶民の日常生活でも多様な言語が飛び交う多文化な社会であり、外国文化・言語について学ぼうとするものにとってはたいへん刺激的な環境である。と同時に、台湾には親日派・知日派の方々が多く、治安の良さとあわせて、とりわけ中国語の初学者にとっては不安が少ないのではないか。今回の渡航を通じて、学生たちはそうした友好関係の背後にある正負の歴史的・政治的な背景を知る機会を得たと思う。台湾・中国その他アジア諸国との国際関係のなかに立つ日本にあって、そうした視座から翻ってさらに見識を深めていく努力を、学生たちには期待している。

東呉大学は、台湾において100年の歴史と伝統を誇る私立大学である。とりわけ外国語学部日本語学科はこれまでに数多くの優れた人材を輩出してきたことで知られ、このほか理学部・法学部・商学部・文学部の5学科に約1万5千人の学生を抱える。高千穂大学とは10年を超える交流関係があるが、4年ぶりの学生派遣となった今回は、商・経・人科3学部から8名の参加となった。

台北の中心街から北部へタクシーで20分ほどのところに、豊かな自然と広大な敷地に恵まれた東呉大学のメイン・キャンパスがある。3週間の留学期間中、学生たちはそこで毎日朝から夕方まで、中国語の特訓のみならず、台湾の政治経済と文化、アジア諸地域と日本との国際関係、歴史などについて講義を受けた。

課外時間においても、日本語学科の諸先生方と学生たちが、市内の博物館やラジオ局、郊外の観光名所などに案内して下さる機会があったと聞いている。台北市内には日本統治時代からのものを含め、歴史的な建造物・史跡が実に数多く保存されており、単なる観光にはとどまらない有意義な経験を得られたのではないだろうか。

3週間の後、お世話になった日本語学科の諸先生方と



修了式にて、学部長の頼錦雀先生と。



上／日本語学科がある第一教学研究棟 下／寮の台所

宿舍居室のベッドと机。

平成22年度
高千穂大学 奨学生表彰・認定式

平成22年7月6日(火)、セントラルスクエア2階タカチホホールにおいて高千穂大学奨学生表彰認定式が行われた。本年度は総勢115名が表彰認定された。

例年どおり、「小池厚之助賞」への表彰と、「学業成績優秀者奨学生」、「私費外国人留学生奨学生」に対する認定が行われた。加えて、本学が指定する資格を取得した学生に対して奨学金を給付する「資格取得者表彰」、国際ビジネスパーソンの養成を目的とした本学独自のプログラムであるIBCSの研修参加者に対する「IBCS特別奨学金」、4年ぶりとなる台湾の東呉大学で行われる研修参加者に対する「海外研修奨学金」、今年で2回目となる高千穂学園同窓会から、本学の奨学制度に関する規程の「学業成績優秀者奨学金制度」及び表彰規程の「小池厚之助賞」を、在学中2回以上授与された者に対して4年次に授与する「高千穂学園同窓会奨学生」の認定が行われた。藤井理事長、成田学長、福田同窓会会長、をはじめとして、奨学生が所属するゼミナール担当の先生方、事務局職員等、多数の方が出席した。

奨学生への表彰認定式に続き、成田学長、藤井理事長、福田同窓会会長から奨学生に対する励ましの言葉があり、これに対して奨学生を代表して学業成績優秀者奨学生の野澤恵美さん(商学部4年)が将来に向けて誓いの辞を述べ、式は終了となった。

今回の表彰認定は、奨学生諸君の日頃の学問への意欲と成果が実を結んだものであり、今後もこれまで以上の努力を重ね、有為な人材として成長されることが期待される。



学長授与



理事長祝辞



同窓会長授与



受領者代表挨拶



奨学生の皆さん

平成22年度 高千穂大学表彰規程及び奨学制度に関する規程に係る奨学生等一覧

<学部・学年別>

【小池厚之助賞】

【2年生】		
学部	氏名	
商学部	田本	有香莉
商学部	真栄田	あゆみ
商学部	辻山	絵梨香
商学部	照井	悠真
商学部	佐藤	考晃
商学部	野畑	文
商学部	南	尚歩
商学部	井村	彩
商学部	井上	勝太
商学部	橋本	聡美
経営学部	高橋	明男
経営学部	佐藤	雄紀
経営学部	酒寄	剛志
経営学部	森泉	優一
経営学部	鳳崎	佑太
経営学部	大日方	優
経営学部	岩佐	綾香
経営学部	高瀬	史夏
経営学部	中島	直樹
経営学部	林	智也
人間科学部	原田	恵梨香
人間科学部	仁木	研吾
人間科学部	小野寺	俊
人間科学部	佐藤	加奈子

以上 24名

【私費外国人留学生奨学金制度】

学部	学年	氏名
経営学部	3	李 継平
経営学部	4	程 娜

以上 2名

【学業成績優秀者奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	3	久田 貴紀
商学部	4	野澤 恵美
経営学部	4	五島 康人
人間科学部	2	永倉 佑華
人間科学部	3	齋藤 丈哲

以上 5名

【資格取得者表彰】

学部	学年	氏名
商学部	3	津野 宅美

以上 1名

【3年生】

学部	氏名	
商学部	田中	愛里
商学部	柳沼	亜維子
商学部	黒澤	和晃
商学部	松吉	祐典
商学部	黒沼	さやか
商学部	池田	直子
商学部	中村	和成
商学部	高木	俊行
商学部	米山	紀衣
経営学部	細貝	千裕
経営学部	宮野	雅章
経営学部	蛭原	修吾
経営学部	牛久保	修司
経営学部	新藤	健樹
経営学部	鈴木	大悟
経営学部	河合	友香理
経営学部	高橋	恵美
経営学部	俞	春蘭
経営学部	李	継平
人間科学部	磯矢	宏美
人間科学部	石原	香奈子
人間科学部	榊	あんな
人間科学部	友野	元気

以上 23名

【IBCS 特別奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	2	野溝 早織
商学部	3	石井 祥之
商学部	3	勝田 陽子
商学部	3	田中 佑季
経営学部	2	岩渕 誠哉
経営学部	2	佐藤 雄紀
経営学部	2	鈴木 幸
経営学部	3	中島 康博

以上 8名

【海外研修奨学金制度】

学部	学年	氏名
商学部	2	井村 彩
経営学部	1	前田 英一郎
経営学部	2	酒寄 剛志
経営学部	3	石川 千夏
経営学部	3	岡山 渉
経営学部	3	加道 孝美
経営学部	3	黒木 敏典
人間科学部	4	飯塚 義樹

以上 8名

【4年生】

学部	氏名	
商学部	菊地	麻友
商学部	板坂	明子
商学部	今村	保奈美
商学部	村松	麻美
商学部	越川	恵美
商学部	榎本	雅之
商学部	井口	真弓
商学部	橋本	よし恵
商学部	安部	香世子
経営学部	藪田	知也
経営学部	鈴木	菜緒
経営学部	久松	栄樹
経営学部	倉見	博昭
経営学部	荒木	智透
経営学部	太田	英希
経営学部	藤原	直人
経営学部	古川	博
経営学部	程	娜
人間科学部	木村	佳那子
人間科学部	若林	麻美
人間科学部	鎌田	美穂
人間科学部	古賀	健人
人間科学部	済陽	多良

以上 23名

【高千穂学園同窓会奨学金】

学部	学年	氏名
商学部	4	安部 香世子
商学部	4	井口 真弓
商学部	4	今村 保奈美
商学部	4	越川 恵美
商学部	4	児玉 正徳
商学部	4	竹井 文俊
商学部	4	野澤 恵美
商学部	4	橋本 よし恵
商学部	4	増山 祐哉
商学部	4	村松 麻美
経営学部	4	五島 康人
経営学部	4	岩間 理沙
経営学部	4	直井 洋志
経営学部	4	古川 博
経営学部	4	程 娜
人間科学部	4	木村 佳那子
人間科学部	4	寺松 達也
人間科学部	4	水島 茉李
人間科学部	4	横田 恵理
人間科学部	4	若林 麻美
人間科学部	4	済陽 多良

以上 21名